ともかき

発行所
東京都立三田高等学校
青葉会
（同窓会）
港区三田1丁目4番46号
電話（453）1991㈹

青葉会の集い せまる!!11月23日

着任にして思うこと

名誉会長
学校長　古松　彰

私は、定時制の夕礼に出るのが楽しい。オセンチ山を背景としたオープンデッキに、百数拾名の生徒が集って、私語一つなく夕礼が行われる。静謐さだけではない。一人一人の眼が輝やいている。「何かをつかもう」「自己を充実させよう」という意欲が感じられる。話をしているこちらも、楽しいだけではなく生きがいを感じ、私自身も努力しなければという責任感が湧いてくる。

最近の高校生とは、一般的には、とやかく言われている今日、どうして三田高の生徒はしっかりやっているのであろうか。着任早々の私は何人かの先生方に尋ねてみた。その答は異口同音に、「伝統です」であった。

伝統にもいろいろある。たしかに本校は五十余年の歴史を有しているが、単に年月が長いのみでなく、充実した年月が長かったのであろう。例えば、他校にさきがけて、昭和十五年より給食を実施し、昭和四十年には文部大臣表彰を受けている。先生方のよき指導に応えて、生徒は、己を充実させると共に、それぞれの道において社会に貢献している。例え、縁の下の数多い土台石の一つであろうとも、自分の役割りに誇りと自信をもっている。伝統とは、このような努力の積み上げの成果であろう。

良き伝統を築いて下さった青葉会の皆さんに、深い敬意を表すると共に、今後ますます隆昌・発展され、後輩を激励して頂くよう、切にお願いする次第である。

良き伝統と校風の上に

名誉副会長
教　頭
菊池康夫

この四月、南の洋上遙か百キロ、大島南高校から転任してまいりまして、はや六ヶ月が過ぎました。学校の様子がわかるにつれて本校の伝統に根ざした校風らしきものが少しずつ私の身体にしみこんでくるようになりました。

創立以来五十三年間、戦前の向学心に燃えていた女子の夜学校として発足し、戦中戦後の激しい時代の変動にも揺がず、勤労青少年の勉学の意慾をかきたて、夜学の灯をともし続けてきた重みをもった学校、そんな印象が強く感じられます。歴代の校長先生はじめ多くの先生方のご薫陶とそれを培い育てきた五千名近い卒業生（青葉会）の方々のご努力が、今日の三田高校の中に一本の筋金となって通っているものと思われます。

今年度から新教育課程が実施され、都教委の指導方針も「特色ある学校づくり」と「生徒の健全育成」の二点が強調されております。逆の見方をすれば、それだけ特色のなくなった学校が多くなってしまったということでしょうか。特色ということは特別に新しいものを求めるということだけでなく、伝統と校風に根ざした地道な教育活動も立派な特色であり、その上に未来を見通した定時制教育を充実発展させることが大切だと考えております。

本校も全都定時制共通の悩み、生徒減と生徒の多様化という事態に直面しておりますが、全校あげて新教育課程の中に本校の特色を盛りこみ、魅力ある学校づくりに取組んでおります。「ローマは一日にして成らず」とか、三田高校の良き伝統と校風とは何かを今後さらに見究めながら、それを発展向上させていくことが私共現教職員に課せられた責務であると思います。

その際に私共にとって、また在校生にとって大きな心の支えと励みになるのは卒業生の皆様の存在です。各方面でご活躍されている諸先輩の姿が在校生にとって明るい指標になっています。母校、三田高校発展のために青葉会皆様の温かいご支援をお願いいたします。

青葉会の一層の発展を

前教頭・名誉副会長
現都立東高等学校長
久保　道雄

昭和五十一年、私は現在八潮高校長であられる小沢先生の後任として三田高に着任しました。丁度、新校舎が完成したばかりで、とても学校とは思えぬ美しい瀟洒な建物に驚嘆しました。さらに当時の長谷部校長先生から三田高の歴史や現状について伺い、この様な学校に勤務出来ることの喜びと同時に責任の重さをひしひしと感じたことでした。

翌年、校庭や温水プールが完成してから、新校舎の落成記念式が盛大に行われましたその際、卒業生の皆さん方も何名か出席して下さいましたが、全日制の卒業生とは比べくもないことに寥々たるものでした。

この時等定時制の同窓会をもっと組織的に強化せねば、と先生方と話しあいました。それから、学校側としては石関先生が中心になり、当時の役員の方達とご相談して、来るべき完時制創立五十周年を期して同窓会の充実を図ることになりました。当時の富川会長さんはじめ役員の方々が何回となく会校に集まられ名簿の作成、機関誌の発行などを手がけて下さいました。

昭和五十四年には同窓会も青葉会と名のり役員の方達が創立五十周年記念行事の実行委員として、教職員やPTAの役員の方々と共にその準備に当たって下さいました。

当時の杉村校長先生の適切なご指導によることは申すまでもありませんが、青葉会の皆さんが物心両面にわたって絶大なご支援ご協力下さったからこそ、あれだけの立派な記念式典並に祝賀会を行うことが出来たのだと思います。まさに、私の在職中のハイライトともいうべき行事でした本当に嬉しくありがたく思っています。あらためて心から感謝申し上げます。

その後会長の富川さんから石田さんへとうけつがれ、年一回、それも十一月二十三日という定時制にふさわしい祝日に総会が催されることになりました。年々相集う人数もふえお互いの交流もましてゆく様子を拝見して、大変心強く思っておりましたが、この三月、私はこの懐かしい三田を去ることになりました。三田での六年間は皆様方のお蔭で、大変楽しく、心温まる日日でした。

いま、私は都立東高等学校に勤めています。全日制25学級、定時制8学級の平均的な普通高校です。三田での体験をいかして、より良い学校をめざしてがんばっております

青葉会の皆様、本当にお世話になりました。会のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

新名誉会長・副会長をお迎えして

会長　石田　弘

紅葉の季節となり、愈々皆さんと一同に会する日を目前に楽しさが増す毎日で御座います。今回の集いでは特に、新しく御着任下さいました古松校長先生と菊池教頭先生を青葉会名誉会長、副会長へそれぞれご就任いただくと云う意義深き集いということになります。それぞれの先生につきましては紙上にも掲載されておりますように、校長先生は浦田高校より、教頭先生は大島南高校よりご着任になり、この道の経験豊富なベテラン中のベテランでいらっしゃいます。このようなお二人を、この青葉会にお迎えできることを大変嬉しく、光栄に思います。先生ご多忙とは存じますが、どうかこの勤労学徒出身の未熟な集いをご指導下さいますようお願い致します。私達もかって一個のパンをわかち乍ら勉学にいそしんだ仲間一同、今なお団結して母校の繁栄と後輩のために一生懸命努力したい一心で頑張っております。

第三回青葉会の集い

11月23日勤労感謝の日 同窓生こぞって母校に集ろう

今年も皆さんに喜んでいただける、楽しいパーティになるよう種々企画を練っております。五十余年の歴史のある母校には四千七百余名の卒業生がおり年令層も広範囲にわたっております。皆さん声をかけあってお集りいただき楽しい一日にしようではありませんか。

校舎、周辺の景色も一変しました。往時をしのぶオセンチ山も健在です。校舎も近代建築になり、その容姿は全都立高校の中でも最たるものです。ぜひご参加下さい。

とき　11月23日（火・祭日）
午後1時開会
場所　母校音楽講堂
行事　(1)総会（会計報告）
(2)懇親会
会費　弐千円也（当日受付へ）